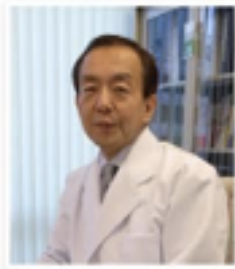




# 健康と温泉フォーラム

## 第79回月例研究会のご案内

- 共催： 一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会  
非営利団体地域活性学会 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
- 日時：2018年4月26日(木) 13:30~16:45 (受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階中会議室 (JR上野駅公園口前) 定員：40名 (先着順)
- 参加費 2,000円 (会員：地域活性学会、日本健康開発財団、日本スパ振興協会、  
温泉療法医会 健康と温泉フォーラム) 3,000円 (一般参加者) 無料 (学生・報道関係者)  
(当日受付でお支払をお願いします)
- テーマ 「超高齢化社会における、近代医療と温泉の役割 (仮題)」
- 講師 信川益明 (日本健康科学学会理事長)



略歴 東京都生まれ 慶應義塾大学医学部大学院修了 前慶應義塾大学医学部教授 医療健康科学研究所 所長 千代田漢方内科クリニック 院長  
専門 内科学、漢方医学、東洋医学、生活習慣病健康科学、健康スポーツ医学、健康食品予防医学、産業医学、プライマリケア学 医療管理学、医療情報学、診療情報管理学、医学教育学保健・医療・福祉連携、救急医療、災害医療、高齢者医療、地域見守りシステム

■ 要旨 超高齢化社会を迎える我が国の医療現場において、永い歴史を持つ伝統的な温泉療養（湯治）やその役割などの見直しへの期待が高まっています。従来、温泉療養の主な適応疾患であった、リウマチやアレルギーあるいは皮膚疾患は、近年、その改善に効果のある薬の開発が進みました。それにともない温泉医学は術後のリハビリや生活習慣病改善、疾病予防そしてアンチストレスなどより新しい役割が期待されるようになりました。このような温泉に対する医療現場の動きは、ドイツやイタリアなどの欧州温泉国でも同様ですが、ドイツやフランスではクア（療養）からウエルネス（健康）へのシフトと同時に、先端医療研究の一つとして、温泉による認知症の改善などの研究も注目されはじめています。このような背景の中、今回の研究会では、明治維新150年の節目に現代社会における我が国の医療の役割やあり方等をテーマに日本健康科学学会理事長の信川先生を講師にお迎えします。

信川先生は、救急、見守り、地域という医療現場の永い経験の中から「人にとって医療とは何か」、「その役割とは何か」を考えられました。人が生きるために必要なこととして、食事や運動や入浴や、様々な健康や美容サービスがあり、医療はあります。人の生活において医療もあくまでも、その一部。人のライフステージにおいて、医療、薬、手術、介護を要する時があるように、その他のサービスを必要とするときがあるはず。「医療か、〇〇か」という二択の問題ではなく、その人にとって、上手な選択と連携を考えることこそが大切なのでしょう。

「温泉」を始め様々な健康や美容サービスは、いつどんな人に必要なものなのかをもう一度考え、今回の研究会では、今後の「温泉」を始めとする周辺サービスのよりよい姿を創る機会としたいと思います。

(事務局文責)



E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp) Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

第79回月例研究会 (2018年4月26日 (木)) に出席します。

●お名前 (複数可)

- 
- 
- 

●所属会員

<input type="checkbox"/> 健康と温泉フォーラム	<input type="checkbox"/> 地域活性学会
<input type="checkbox"/> 日本スパ振興協会	<input type="checkbox"/> 日本健康開発財団
<input type="checkbox"/> 温泉療法医会	<input type="checkbox"/> その他

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL

E-mail

FAX

携帯☎

●お問い合わせ 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

電話/FAX 03-6804-8575

E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp)

